



TITLE:

星座百首(一)

AUTHOR(S):

某女

CITATION:

某女. 星座百首(一). 天界 1923, 3(28): 123-123

ISSUE DATE:

1923-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159852>

RIGHT:

星座百首(一) 某女

雙子座

大犬座

蟹座

獅子座 小獅子座

大熊座

小熊座

ペガサス座

ミ三角座

カシオペイア座

ペルセウス座

ミアンドロメダ座

ケフェウス座

いつみても友との情こまやかに

雙子星座の美しきかな

大犬のアルファシリウスかゞやきて

恒星中の光輝第一

天海を蟹のよこばひゆうくみ

幾よろづ代をはひわたるらん

獅子小獅子舞へよくるへよ天の原

はてしもしらぬひろきみそらに

大熊座汝が一名は大柄杓

天の川原に水くまんこや

小熊座のアルファ北極星中心に

よろづの星はめぐるごみ見ゆ

ペガサスの正方形にくらべては

いこも小さき三角座かな

いみじくも天にものせし W 字

カシオペイアの筆のあこまや

ペルセウス、アンドロメダのものがたり

ギリシヤ神話のなかに名高し

ケフェウス汝が王國のものがたり

天秤座、定規座

及び海蛇座

蝸牛座

祭壇座、キリン座

及び鳳凰座

琴座

鷲座

白鳥座

矢座、楯座

駒座

海豚座

小狐座

春の夕べのおごぎばなしに

天秤や定規にかけて量らまし

あの海蛇の長さ大さ

蝸牛座は輝く星の數多く

中にもしるきアルファ、アンタレス

祭壇にキリン鳳凰牲として

天の川原にみそぎしてまし

七夕の宵に織女がかきならす

天つ小琴の音こそ妙なれ

牽牛は鷲座のアルファ七夕の

雄星としていこも名高し

白鳥は北十字架三仰がれて

天の川原のたゞなかにあり

矢も楯も今は星座に名をきめて

萬國平和になれよご祈る

誰が駒ぞ手綱うち切り天かけり

天かけりゆく駒ぞ誰が駒

イルカの子なれはいかなるゑにしにて

天つみそらに星ごみやく

小狐はいつしかにけて北天の

十字のかけをひたはしり行く。